

荒川清掃



ふるさと清掃運動会では、毎年秋に荒川河川敷で1,000名規模の清掃活動を実施しており、今回で11回目を迎えます。これまでに累計で6,500名以上が参加してきました。今年度は昨年に引き続き、感染症対策として100名を上限として参加者を募集し、足立区千住大川地区、荒川右岸において清掃活動を実施しました。開催時期については、例年10月としていますが、今年度は感染症の流行の時期を考慮し、2021年11月27日(土)に実施しました。例年より寒中での開催となりましたが、参加者約70名が漂着ゴミを回収しました。昨年度よりもゴミの量が多く、大変拾い甲斐があったとの声が多く聞かれました。

開催に当たっては、国土交通省関東地方整備局荒川下流河川事務所様、足立区様の後援を頂戴するとともに、企画・当日の運営に至るまで、荒川クリーンエイド・フォーラムさんにご協力いただきました。参加者の皆様、ご後援・協力いただいた各所・団体様に、この場をお借りしまして改めて御礼申し上げます。

また、学生ボランティア企画集団 NUTS の卒業生としての立場から申し上げますと、本イベントには毎年多くの NUTSOB/OG が参加しており、「サークルの年一の同窓会」のような位置づけとしても貴重な機会であると感じています。今後とも、単なる清掃のみの意味に留まらない荒川清掃を、継続してまいりたいと考えています。(事務局長 久保宜映)

告知用チラシ

受付・開会式

学生ボランティア企画集団 NUTS 現役・OBOG が協力して、最寄駅からの参加者誘導、幟の設置を行うとともに、受付では感染症対策として、検温や消毒を実施しました。また、開会式では、事務局長と亀山顧問、参加団体からの挨拶に引き続き、荒川クリーンエイド・フォーラムから諸注意と分別説明に加えて、「調べるゴミ拾い」の実施アナウンスとその背景についてもお話いただきました。その後、NUTS の自己紹介を行い、最後に全員で「おらほのラジオ体操」で体を温めてからゴミの収集へ向かいました。



「荒川河川敷で70人ごみ拾い」
毎日新聞、2021年12月4日(土)、
朝刊、22面

閉会式・成果発表

清掃場所と閉会式の場所が離れていたため、清掃終了後、集合写真を撮影してから移動し、閉会式を行いました。参加者からは「大変拾い甲斐があった」との声が多数聞かれました。最後に山本事務局次長から、この日にスタートした「全国一斉清掃 2021 冬」のイベント告知を含めて挨拶があり、閉会となりました。

清掃活動の成果は、可燃ごみ84袋、ペットボトル68袋(約2,000本)、不燃ごみ3袋、カン22袋、ビン11袋で、自転車・棚などの粗大ごみも多数回収しました。

